



YOSAKOIソーラン祭り チームをつくろう！

～街は舞台だ！一人一人が輝く舞台へ～

[2014.11.14 更新版]

YOSAKOIソーラン祭り実行委員会



「YOSAKOIっておもしろそう！仲間とチームをつくって踊ってみたい」
「札幌や各地で、地元のPRをして地域を盛り上げたい」
「わが社の名前をもっと多くの人に知ってもらおう」

などなど・・・ 様々な目的をもって
「YOSAKOIソーラン祭りに参加してみよう！」と思っても、
「でも、YOSAKOIチームってどうやってつくったらいいんだろう？」
「まずは何から手をつければいいの？」
と疑問に思うことはたくさんあるはず！

YOSAKOIソーラン祭りに参加するには、
いくつかのルールと欠かせないアイテムがあります。

どんなチームをつくって、どんな演舞をするか。
自分たちのやりたいことをカタチにするには？

YOSAKOIソーラン祭り組織委員会は
“あなたのチームづくり”を全力でサポートします！



さあ、始めよう！

0. YOSAKOIソーラン祭りとは

YOSAKOIソーラン祭りには、個性豊かなチームが大集合！
参加者一人一人が主役となって、札幌の街を彩ります。

1. チームを立ち上げよう

まずはチームを立ち上げよう。
あなたは誰と、どんなチームを作りますか？

2. 演舞づくり

自分たちをもっともアピールできるもの、それが「演舞」です。
こだわりの演舞を作り上げるもよし、「まずはとりあえず踊ってみる」のもOK！

1. 楽曲
2. 振付
3. 衣装
4. 地方車
5. お助けホームページ！「サポート商店街」

3. チーム運営

チームを運営するには、お金もかかるもの。
練習やメンバー集めなど、みんなどうしているのだろうか？

4. YOSAKOIソーラン祭り参加への道

そして、目指すは6月のYOSAKOIソーラン祭り参加！
一人一人が輝く舞台に立つために。

札幌の街を様々な個性が彩る！ 誰もが主役となって輝く舞台へ。

YOSAKOIソーラン祭りは、札幌の街が新緑に染まる6月、大通公園を中心とした札幌市内約20か所を会場として開催されます。

日本全国、また海外からも多くのチームが参加し、大勢の観客の前で個性豊かな演舞を披露。参加チームは大学生など若者中心のチームから親子3世代が参加するファミリーチーム、女性だけのチームやはたまた高齢者だけのチームなど、地域も年齢も様々です。踊りの作風も和風や洋風に限らず様々。

YOSAKOIソーラン祭り実行委員会は、市民のみなさんの自由な創造性を基本とし、誰もが参加できる祭りづくりを目指しています。



ルールは2つ。

「手に鳴子を持って踊ること」

「曲にソーラン節のフレーズを入れること」

YOSAKOIソーラン祭りのルーツとなった高知県の「よさこい祭り」から取り入れられた「鳴子」と、北海道の漁師がかつてニシン漁の際に唄った労働歌「ソーラン節」。この2つをベースに、各チームが趣向を凝らした演舞を披露します。



1. チームを立ち上げよう

「YOSAKOIチームをつくろう！」と考えたきっかけは何ですか？

チームをつくろうと考えるきっかけは、人によって様々にあると思います。
あなたが「チームをつくろう」と考えたきっかけは何ですか？それを整理してみましょう。

「仲間と一緒になにか一つのことをやり遂げたい」

「会社のPRをしたい。そして社員の団結力も高めて一石二鳥！」

「親子で一緒に活動して、絆を深めたい」

「地元のことをもっとたくさんの人に知ってほしい」

「YOSAKOIに挑戦したい。既存のチームに入るより、思い切り自分のやりたいことを表現したい！」

きっかけを掘り下げることによって、**それがチームのコンセプトになっていきます。**

「やってみたいけど、“コンセプト”なんて言われると、なんだか小難しいな・・・」と感じた方もいるかもしれません。

もちろん、「とにかく楽しそうだから！」「体を動かしたい」など、理由は何でもOK！

まずは仲間をみつけて、チームを立ち上げてみましょう。

YOSAKOIソーラン祭りは何人からでも参加できます！（※150名以内。下限なし）

「地元の〇〇町を
広くPRする」
「親子で絆を深める」など、
チームの**核**となる
コンセプトを考えよう！



2. 演舞づくり

YOSAKOIチームの活動の核となり、
また、自分たちの想いを伝える最大の“武器”となるのが「演舞」です。

「チームをつくろう」と考えているみなさんならご存知の通り、YOSAKOIソーラン祭りは「踊る」お祭りです。毎年、様々なチームがそれぞれに趣向を凝らした演舞を披露し、祭りを盛り上げています。

「観ている人も一緒に踊りたくなるような楽しい演舞がしたい」

「衣装にも曲にも地元の色を取り入れよう」

など、この**演舞づくりは各チームのこだわりの見せどころ。**

「いきなりオリジナルの演目をつくるのは難しいかも・・・」という場合は、
既存の曲や振付を使って参加することもできます。

次頁から、演舞に欠かせない項目を一つずつみていきましょう。

楽曲

演舞をつくるときに、全体のイメージを大きく形作るのが楽曲、音楽です。

まずは楽曲を決めましょう。

楽曲は、演舞を構成する要素の中で、もっとも大きくイメージを左右するものです。波をイメージした力強い感じ、コミカルで楽しげな感じ、幅広い年代のメンバーが踊れるように、ゆったりとした感じ…

演舞のテーマに合わせて、曲のイメージを膨らませていきましょう。

その際は、曲中に「ソーラン節」の一節を入れることを忘れずに！

(アレンジは自由です)

オリジナルの楽曲を使用する場合、制作業者に依頼をするチームが多いようですが、中には自分たちで制作しているチームも。

もちろん、既存の曲を使って参加しているチームもたくさんあります。

例えばこんな曲も
使えます！

・ONDO de ソーラン
・教材用ソーラン

・御歌囃子ソーラン

など

振付(踊り)

曲に合わせて、振付を考えましょう。

振付も、プロの振付師に依頼をしているチームもあれば、チームメンバーがアイデアを出しあって独自につくっているチームもあり、その方法も様々。動画サイト「YouTube」「ニコニコ動画」でいろいろなチームの演舞を公開しているの、こちらも是非参考にしてみてもはいかがでしょうか。

演舞の形式には会場によって異なる3つのパターンがあります。

- ① **ステージ形式** (進まずに固定して踊る形式)
- ② **パレード形式** (地方車を先頭にして前進する形式)
- ③ **静止パレード形式** (パレード型で進まずに固定して踊る形式)

振付の際にはこの形式に沿って、パレードでは前進する踊りにしましょう。

曲中に「ソーラン節」の一節が入っていること。

これさえ守れば、あとは自由に。ロック調、サンバ調なんてのもあり！

※1チームの演舞の持ち時間は4分30秒です。この時間に、前口上(挨拶)や掛け声なども含まれますので、曲の長さはそれを考慮してください。

※オリジナルの制作曲ではなく既成の曲を使用する場合、必ず著作権上の手続きを済ませた上でご参加ください。

ニコニコ 公式チャンネルにて最新のチーム演舞を公開中！



衣装

演舞を盛り上げる、チームのトレードマーク！

わかりやすく視覚的に、観ている人に訴えかけられるのが衣装です。
チームのコンセプトや演舞テーマに沿って考えましょう。

デザインも、「いかにもお祭り！」っぽい法被だけにとどまらず、洋風からはたまた宇宙服(!?)まで、各チームの個性が際立ちます。

プロがデザインした衣装から、お母さんの手縫いの衣装、おそろいのTシャツやスニーカーなど、工夫を凝らした衣装で演舞を盛りたてましょう。

また、衣装とともにお祭り気分を盛り上げるのが「メイク」です。
オーソドックスなのは、たとえば鼻筋や目元に赤・白のラインを付けるメイクなど。
衣装と合わせて、髪飾りを付けたり、アクセサリを付けるなど、楽しみのひとつとしてアレンジされています。



地方車

パレードを先導する、祭りの花形



「地方車(じかたしゃ)」とは、音響機材を積んだ
装飾トラックのこと。パレード形式の会場で、
チームの先頭を走ります。

パレードに参加するにはこの地方車が必要です。
地方車は基本的に実行委員会から各チームに有料で
貸し出していますが、「地方車も演舞の一部として、どう
してもこだわりを持ってつくりたい！」というチームでは、
自分たちで制作をしている場合もあります。

実行委員会で貸し出している地方車には、チーム名を
掲出する場所やオリジナルの装飾ができるスペースが
あるので、そういったスペースも活用して、演舞を盛り上
げましょう。



演舞を
盛り上げるのは、
あなたの工夫次第！
自分たちの
強みを活かした、
個性あふれる
演舞をつくろう！

「楽曲や衣装なんて・・・誰に相談したらいいの？」 そんな時は！

「サポート商店街」が味方です！

楽曲や衣装、振付などの「制作を依頼したい」と思っても、「どんな業者があるの？」
「予算は？」などなど、わからないこと・気になることはたくさんあるはず！
そんなあなたのチームの味方になるのが、この「サポート商店街」です。

「サポート商店街」とは、祭りの公認業者をご紹介しますウェブサイト。
あなたの“理想のチームづくり”をお手伝いします！

【ご紹介ジャンル】

- ◆総合プロデュース
- ◆振付・ダンススタジオ
- ◆衣装関連
- ◆音楽制作・音響等各種レンタル
- ◆交通関連
- ◆旅行会社・観光サービス
- ◆出版社・印刷関連
- ◆ホテル・飲料・弁当等
- ◆関連グッズ製作販売

色合いや素材まで
こだわって、
納得のいく
衣装にしたい

大まかなイメージ
だけ伝えて、
とにかく低予算で
曲を作りたい！

まずはホームページをチェック！

予算や制作の方法も様々です。たくさんのスタジオや会社が載っているので、
じっくりと自分たちに合ったところを探そう。

▼「サポート商店街」イメージ図



3. チーム運営

チームを立ち上げたら、リーダーがチームをまとめて運営していこう！

練習

まずは練習！

祭り本番に向けて、練習をしていきましょう。多くのチームは、練習場所として、小中学校の体育館や地域の公民館、公園などを使用しているようです。

練習の合間にレクをやったりして、チームメンバーの絆を深めるのも◎。

中心メンバーの中で役割分担をして、楽しい練習ができるようにしましょう。

※屋外や公共の場所で練習をする際は、近隣の方に音などの迷惑をかけないように気をつけましょう。マナーを守って楽しく練習！



「練習と言っても、またチームの曲はできていないし、何から始めれば・・・」

そんな時は“総踊り”から始めてみよう！

“総踊り”とは、特定のチームの演舞曲ではなく、祭りに参加するチームが共通で踊れる踊りのこと。祭り期間中は様々な会場や企画で、この総踊りを踊る機会があります。

「何から練習すればいいかわからない」という場合は、まずはこの“総踊り”から始めてみては？

YOSAKOIソーラン祭りには「よっちょれ」や「ONDO de ソーラン」など様々な総踊りの曲があります。総踊りの楽曲や振付については事務局までお気軽にお問い合わせください！

メンバー募集

Webを活用しよう

仲間が増えれば、チームの活動がもっと楽しくなる！

一人でも多くの仲間と一緒に踊れるように、メンバー募集は力を入れたいところ。

メンバー募集の方法は、学校や公民館、地域のお店にポスターを貼ってもらったり、チラシを配る、友達に紹介をしてもらうなど、たくさんあります。説明会を開いて演舞を披露するなど、実際にチームに触れてもらうとより効果的でしょう。

また、今は多くの情報をインターネット上で得ることができます。YO SAKOIチームも、ホームページを持っているチームがほとんど。

チームのホームページを立ち上げたり、ブログやツイッター、フェイスブックを活用して、チームに興味を持ってくれた人がすぐに知りたい情報を得られたり、チームに連絡をできるようにしましょう。

YOSAKOIソーラン祭りに参加申し込みをすると、公式ホームページ上の「踊り子募集掲示板」に書き込みができるようになります。

資金あつめ

なにかとお金はかかるもの

練習会場のお金や祭りの参加費、衣装代など、なにかとお金はかかってしまうもの。他のチームはどうやって活動資金を集めているのでしょうか。

多くは、チームメンバーからの会費(年間や月間など)で運営をまかなっているそう。

その他に、地元の商店からの支援金や寄付金を募ったり、チームによっては、企業からの協賛金をメインとした企業チームとして活動しているチームもあります。

なるべく活動にお金がかからないようにする工夫も必要かもしれません。

4. YOSAKOIソーラン祭り参加への道

目指すは6月・札幌の舞台！参加までの流れを確認しよう

参加申込期間となる12月～翌年2月ごろにかけて、チームメンバーの募集を開始するチームが多いそう。また、メンバーを募集すると同時に、チームの中心スタッフ内で楽曲や衣装など、演舞の構成・演出案をかためていきます。

特に演舞の要となる楽曲は、この頃までに完成させてしまうチームが多いようです。

練習の回数がだんだんと増え、いよいよ祭りが近くに感じられる4月。大体のメンバーが決定し、演舞も全体の形が見えてくる頃です。もちろん、学生チームなどを始め、この時期でもまだまだメンバー募集を行っているチームもあります。

最終的にメンバーが決定したり、衣装や道具類が完成するのがこの頃。あとは、本番に向けて練習あるのみ！



12月 参加申し込みスタート

参加申し込みは公式ホームページから。12月～翌2月までの3か月間が申込期間となります。この間に、ホームページ上の申し込み手続き、参加費の振り込みなどを行います。

祭り参加にあたって、何か特別な相談事項(例えば、「スケジュールの都合上、日曜日だけの参加にしたい」など)があれば、それもなるべくこの期間までに。

2月末 参加申し込み締切

「参加者ガイダンス」とは、6月のYOSAKOIソーラン祭りに参加する全チームが出席するイベント。祭りのルール説明や企画紹介、祭り期間中の演舞スケジュールの抽選があります。(審査を希望する場合は、この抽選で審査ブロックが決定します。)本祭りに向けた、もっとも重要な行事です。

また、この前日には「**全国交流会**」が開催され、全国各地から集まった参加チームの交流の場所となります。

4月初旬 参加者ガイダンス

参加者ガイダンス以降、いよいよ各チームの練習も佳境となってくるころ。ガイダンス後から5月中旬までが、祭り参加のために必要な提出物の提出期間となります。チームのPR資料や楽曲CDの提出などがあるので、この時までには楽曲や演出など、演舞についての内容を固めておく必要があります。

5月中旬 提出物締切

そして6月、ついに本番。札幌の街中が舞台となる5日間がやってきます。これまでの練習の成果を存分に発揮！大勢の観客の前で、苦楽をともにした仲間たちと踊る演舞は、きっと格別のものになるでしょう。

祭り期間中は、自分たちの演舞はもちろん、他のチームの演舞を見たり、「ふーどパーク」で全国の名物料理に舌鼓を打ったり、ここでしか味わえない楽しみが満載です！

6月上旬
YOSAKOIソーラン祭り

YOSAKOIソーラン祭り参加にあたっての詳細なルール・手続きに関しては、「**参加要綱**」をご覧ください。

新しくチームを立ち上げるには、
「こんなチームをつくりたい！」といった
希望やわくわく感とともに、
様々な不安があることでしょう。

YOSAKOIソーラン祭りは、
新たに参加するあなたのチームを応援します！

疑問に思ったこと、相談など
なんでもお気軽にご連絡ください。

新緑の札幌で、たくさんの仲間たちと
輝く瞬間を目指しませんか？

YOSAKOIソーラン祭り実行委員会（担当：横山）

TEL:011-231-4351 / FAX:011-233-4351

E-mail:team@yosakoi-soran.jp

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西2丁目

北海道経済センター4階

